

Web で何かやろう!

樋口三郎¹

テーマ Web はこの世界の基盤です。次々に新しい技術、アイデアが生まれてきて楽しいです。教育、情報どちらでも、どこかで Web の仕事と関わるのでは?

情報を一方的に提示するだけでなく、ユーザの入力に反応する Web ページを Web アプリケーションといいます。例: Twitter, Instagram, Facebook, Amazon, ニコニコ動画, ...

この特別研究では、各自が独自のアイデアをとり入れた Web アプリを設計・制作・評価することをゴールにします。

例えばこんなのはどう? より詳細な情報は <http://hig3.net> → 特別研究にあります。これらは例や妄想です。他のアイデア求む。+ は 2015 年に, ◦ はもっと過去に, 4 年生が関係あるプロジェクトをやっています/しました。* は樋口がやっています/しました。

Web の新しい (?) 技術や仕様を試そう! これを何に使うかも同時に考えないと。

- Twitter と連携したシステムを作ろう!
- スマホの GPS/位置情報/磁気コンパス/加速度センサと地理情報を利用したシステムを作ろう!
- Web Socket で複数ユーザの入力でリアルタイムに更新されるサイトを作ろう!
- * LAMP=Linux, Apache, MySQL, PHP で Web アプリを作ろう!
- + Web フレームワークで Web アプリを作ろう!
MEAN=MongoDB, Express.js, AngularJS, Node.js で Web アプリを作ろう!
- + LeapMotion で手と指の形に反応するアプリを作ろう!

ゲーム/パズル ゲームやパズルの数学的構造を理解して, Web 上で表現しよう。

- ゲームのプレイヤーのソフトウェアを作ろう!
- * パズルを作る/解くソフトウェアを作ろう!
- * パズルの解の個数や, ゲームの勝利確率を求めるソフトウェアを作ろう!
- + ゲームフレームワーク Unity で 3D 世界を作ろう!
- + Minecraft を Python でプログラミングしよう!

教育+Web 数理情報の卒業生って, 教育に IT が使えるといいんじゃない?

- + ジグソー法による学習を支援するアプリを作ろう!

- * 中学高校用数学 e ラーニングシステムを作ろう!
 - * 問に数式で答えると, 間違いに応じてアドバイスして正解に導いてくれるシステムを作ろう!
 - * 多くのデータを取得できる採点システムを作ろう!
- * 線形代数の基本変形練習システムを作ろう!
 - 3次元図形を操作して実感できるシステムを作ろう!
 - + WebGL+Three.js で重力のもとで運動する天体を 3D シミュレーションしよう!
 - スマホで力学を実感できるアプリを作ろう!
- +* e ラーニング (Moodle) に機能を追加しよう!
 - Kinect でスポーツのフォームにアドバイスするシステムを作ろう!

こういうことをやる目的 他のメンバーと協力して, 新しい技術を学んで使いこなせるようになって, 世の中の人々の需要を分析してシステムを設計し制作する, という, ソフトウェア開発の 1 サイクル, または, 仮説を立てて実験して統計的に検証するという実験的研究の 1 サイクルを経験してほしいという趣旨です。

特別研究ののり 最初は仮のテーマにそって調査・研究を進めます。だんだん知識が増えて周囲の状況がわかってきたら, 各自の希望にあわせて微調整または大変更してもらいます。

前期は週に 1 度程度集まり, みんなで知識が共有できるように発表してもらったり, 全員のテーマに共通する事項について学んだりします。小さいプログラムや Web ページを実際に作成してみます。

後期は各自のゴールに向けてがんばっていきます。実験室や自宅で毎日作業を進め, 週 1 回以上ミーティングや打ち合わせを行います。

前期木 45, 後期木 234 が全員の集まるミーティングです。その他, 個別またはグループで集まります。

関係ある科目 プログラミングを使うので, 苦痛でない人のほうがハッピーかも。C や Java の細部の知識はいりません。数理情報演習 (樋口) の続きではありません。

希望する (かもしれない) 人にお知らせ 1 次, 2 次募集とも, 万一定員を超えた場合には, 樋口と直接お話しして, 樋口の訪問者リストに名前を書いた人を優先します (なぜならよく考えた上で希望してくれたっばいから)。

樋口は 2015-11-23 月-25 水は不在です。30 月の昼, 4 講時 (1-502), 26 木, 3 木の昼, 6 講時 (1-539) がもっともお話ししやすい時間帯です。

⁰Copyright ©2015Saburo HIGUCHI. All rights reserved.

¹部屋: 1-502, 実験室: 1-539, tel:0775437514, hig@math.ryukoku.ac.jp <http://hig3.net/>